

はじめに

AWS 認定デベロッパー – アソシエイトレベル試験は、開発者の役割を担う方を対象としています。この試験では、受験者の下記の能力を認定するものです。

- AWS を使用したクラウドベースのソリューションの設計、開発、およびデプロイ
- コア AWS サービス、使用方法、および基本アーキテクチャのベストプラクティスの理解
- Amazon Simple Storage Services (S3)、Amazon DynamoDB、Amazon Simple Queue Service (SQS)、Amazon Simple Notification Service (SNS)、Amazon Simple Workflow Service (SWF)、AWS Elastic Beanstalk、および AWS CloudFormation 用に記述されたアプリケーションの開発、保守

このレベルを満たすために必要な知識とスキルには、以下の分野とその内容のすべてが含まれます。

AWS の知識

- AWS テクノロジの使用についての専門的な経験
- AWS API によるプログラミングの実践的な経験
- AWS セキュリティのベストプラクティスについての理解
- オートメーションおよび AWS デプロイメントツールについての理解
- ストレージオプションとその基盤となる整合性モデルについての理解
- 少なくとも 1 つの AWS SDK についての高度な理解

IT 全般の知識

- ステートレスで疎結合な分散アプリケーションについての理解
- RESTful API インターフェイスによる開発についての理解
- リレーショナルデータベースと非リレーショナルデータベースについての基本的な理解
- メッセージングサービスとキューイングサービスについての理解

以下のトレーニングコースや方法で、試験に備えることができます。

- AWS での開発 (aws.amazon.com/training/developing)
- 少なくとも 1 つの高水準プログラミング言語についての詳細な知識またはトレーニング
- AWS クラウドコンピューティングのホワイトペーパー (aws.amazon.com/whitepapers)
- AWS のドキュメント (aws.amazon.com/documentation)

注：この試験要綱には、配点、試験の目的、および内容サンプルが含まれます。サンプルの話題や概念は、試験の目的を明確にするために収録したもので、この試験のすべての内容を包括的に示しているわけではありません。

下の表にこの試験の評価対象となる分野と全体に占める割合を示します。

分野	試験に占める割合
1.0 AWS の基本	10%
2.0 設計と開発	40%
3.0 デプロイと保守	30%
4.0 デバッグ	20%
合計	100%

回答方法

受験者は 4 つ以上の選択肢から、設問に最もよく当てはまるもの、または回答となるものを選択します (複数選択可)。全体的にはどれも試験の目的が定める出題範囲に合致した、もっともらしい選択肢に見えますが、中には紛らわしい選択肢や誤った選択肢が含まれており、知識や技術が不完全な受験者の誤答を誘うようになっています。

この試験で用いる出題形式は以下のとおりです。

- **択一問題**: 選択肢の中から設問の答えとして正しいもの、または記述を完成させるものを 1 つ選んで回答する。選択肢が画像の中に埋め込まれている場合は、受験者が選んだ部分に「カーソルを合わせてクリック」することで設問への回答とする。
- **複数選択問題**: 選択肢の中から、設問の答えとして正しいもの、または記述を完成させるものを複数選択して回答する。
- **状況把握問題**: 説明文または設問を読み、選択肢の中から与えられた情報を正しく表しているもの、または適切な解決であるものを選んで回答する(複数選択可)。

出題範囲

1 範囲 1.0: AWS の基本

1.1 クラウドアーキテクチャで考慮すべき事項(基本構成要素や効率的な設計)の認識と識別。

出題範囲に含まれるもの:

- クラウドサービスの設計方法
- データベースの概念
- 計画と設計
- アーキテクチャのトレードオフ(高可用性とコストのどちらを選ぶか、Amazon Relational Database Service (RDS)と Amazon Elastic Compute Cloud (EC2)への独自データベースのインストールのどちらを選ぶか)についての理解
- Amazon S3、Amazon Simple Workflow Service (SWS)、およびメッセージング
- DynamoDB、AWS Elastic Beanstalk、AWS CloudFormation
- 伸縮自在性と拡張性

2 分野 2.0: 設計と開発

2.1 クラウドソリューションをコーディングするための適切な手法の判断。

出題範囲に含まれるもの:

- Amazon マシンイメージ (AMI) の構成
- AWS API によるプログラミング

3 分野 3.0: デプロイと保守

3.1 クラウドの最適なデプロイおよび保守のための安全な手順の認識と実装。

出題範囲に含まれるもの:

- クラウドセキュリティのベストプラクティス

3.2 開発、テスト、およびステージングの環境用の適切なアーキテクチャを実装する能力の実証。

出題範囲に含まれるもの:

- 共有セキュリティ責任モデル
- AWS プラットフォームコンプライアンス
- AWS セキュリティ属性(顧客ワークロードから物理レイヤーまで)
- セキュリティサービス
- AWS Identity and Access Management (IAM)
- Amazon Virtual Private Cloud (VPC)
- CIA および AAA モデル、インGRESSフィルタリング対EGRESSフィルタリング、および該当する AWS サービスと機能

4 分野 4.0: デバッグ

出題範囲に含まれるもの:

- 一般的なトラブルシューティングの情報および質問
- デバッグのベストプラクティス